



しらおい食育防災センター

♪ みんなの学校給食 ♪



1/24~30
「全国学校給食週間」



令和2年度「ふるさと給食」の一例

白老牛の牛丼、白老産椎茸の入った大根のみそ汁、白老産キャベツとブロッコリーのサラダ

学校給食は、今から132年前の山形県で無償提供されたのが始まりです。中断を経て、75年前の昭和21年に給食費1カ月20円（当時ラーメン1杯20円）で再開されました。メニューは脱脂粉乳と汁物でした。

学校生活を思い出す時、「給食なんてなかったよ」「毎日コッペパンと瓶牛乳だった」など、お弁当や給食の懐かしい話が登場することでしょう。

実は、学校給食というのは家庭の「お昼ごはん」とは少々違います。子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための重要な役割を担い、生きるための大切な教育の場となります。

町でも、子どもたちが元気に成長することを願って、地場産物などを活用した「ふるさと給食」、結果が楽しい「リクエスト・セレクト給食」による食育の取り組みを行っています。

学校給食の味付けの工夫



学校給食の塩分は、国の基準である1日の目標量の1/3未満としているため、それに合わせた味付けの変更や工夫が必要です。長期休暇明けに給食を食べると薄味に感じることもあります。それは濃い味付けに慣れてしまっているからかもしれません。お子さんやお孫さんに家庭の味噌汁を味見してもらって比べてみると面白いと思います。



【1人1回当たりの学校給食のナトリウム(食塩相当量)基準の変遷】

区分	平成7年度～	平成15年度～	平成20年度～	平成30年度～	令和3年度～
小学校(低学年)	4g以下	3g以下	2g未満	2g未満	1.5g未満
中学校			3g未満	2.5g未満	2.5g未満

※平成6年度以前は基準なし

問い合わせ先：しらおい食育防災センター（パクパクしらおい） ☎84-1231

肝炎ウイルス検診

予約受け付け締め切り：1月14日(金)

【肝炎とは】肝臓の細胞に炎症が起き、肝細胞が壊される病気です。自覚症状がなく進行する場合があります。検診による早期発見・治療が大切です。一生に一度は肝炎ウイルス検診を受けましょう。

日時：2月2日(水)～4日(金) 13時15分～45分
会場：町立病院
対象者：40歳以上の方

※過去に検査を受けた方、現在・過去に肝炎や肝硬変の治療を受けた方は対象外です。



検査方法：血液検査
検査費用：無料

申し込み・問い合わせ先：健康福祉課 健康推進グループ ☎82-5541